

あわよくば

2 MARK 勝負

“他所行き”の舟券勝負

4月は常滑の女子戦、福岡一般戦と周年、計5日、配信に出させてもらった。常滑と福岡周年(1日)は公開放送で、いつもとは違った緊張感があったものの、お客さんの反応がダイレクトに見えたので、すごくテンションが上がった。お声掛けいただいたみなさま、本当にありがとうございました。

なお舟券成績は、1分け2敗2惨敗。それは悲惨なものだった。普段は買いたいレースを吟味して(といっても、目の前のレースをのべつ幕なしに)買うのだが、配信は1場集中。他場に浮気をするのではない。

それだけに普段よりも「当たりたい」という欲は高まる。自身、舟券はそんなに当たらないものだと思っている。それは決して当たりを放棄しているのではなく、自分の舟券スタイルが的中を重視していないということ。

潤沢な資金があるわけではないが、数多くのレースを楽しみたい。そうすると、おのずと買いたい目は絞らなくてはならず、究極の理想形は1点買いで仕留めたい。ひとつしかない答えに対して、たくさん点数を買うのは無駄だと思う。だから「これだ!」という目に渾身の一手を打つ。リスクを押さえてハイリターンを狙う。私の目には購入するレースが全てチャンスに見

えていて、全レース当てに行っているのだ。

ただこんな買い方なので、実際に当たる機会は少ない。長年舟券を買い続けてイヤというほど突き付けられてきた現実だ。

なので的中よりも回収率を重視している。的中率は15%程度だが、回収率は90%前後。うまくハマる時には余裕で100%を超えるが、スランプ時には目も当てられないことになる。

ただ配信でそのスタイルを貫くことはできない。そこが私の弱さではあるが、回収率よりも的中を目指す。コメントで「おめでとう」と言われたい。いいカッコをしたいのだ。しかし普段やらないことをやっても大抵はうまくいかない。的中を重視すると、回収率が上がりづらくて収支はマイナスになることがほとんどだ。つくづく舟券が下手だと自分でも思うが、話の主題はそこではない。

的中を重視した舟券は危険だということ。もちろん当たらないければ回収もないのだが、負けるために舟券を買う人はない。2回に1回当たっても、払戻が投資の1・5倍しかなければ、数打った時点で負けてしまう。的中こそ正義の考え方は沼にハマってしまうのでご注意ください。負け犬が遠吠えしておきます。

(ウエスギ)